

(受付番号) HK 202606-03

千葉大学病院において縦隔原発悪性胚細胞性腫瘍で 手術された患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026年6月1日

呼吸器外科

呼吸器外科では、縦隔原発悪性胚細胞性腫瘍症例についての後方視的検討に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2000年1月1日～2025年3月31日の間に縦隔原発悪性胚細胞性腫瘍で手術を受けた方

1. 研究課題名

「縦隔原発悪性胚細胞性腫瘍症例についての後方視的検討」

2. 研究期間

2026年承認日～2028年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

胚細胞性腫瘍胚細胞性腫瘍とは、胎児のときに将来精子や卵子になる細胞（生殖細胞）をもとに発生する腫瘍の総称です。縦隔原発悪性胚細胞性腫瘍は、その腫瘍が胸の中の「縦隔」という部分にできた、まれな悪性腫瘍であり、主として若年男性に発症し、しばしば局所進展を伴います。一般に化学療法が治療の中心となりますが、初期治療としての手術の適応や、化学療法後残存病変に対する外科切除の意義については、十分に明らかになっていません。また、化学療法後残存病変には多様な病理像が含まれうるということが知られており、画像所見や腫瘍マーカーのみではその性状を十分に予測できない場合があります。

本研究では、当院で縦隔原発悪性胚細胞性腫瘍に対して手術を受けられた方を対象として、患者さんの背景、腫瘍の状況、治療内容、術後病理、再発や生存転帰について後方視

的に検討し、本疾患に対する外科治療の役割を明らかにすることを目的としています。

対象となるのは、2000年1月1日から2025年3月31日までの間に、千葉大学医学部附属病院呼吸器外科で縦隔原発悪性胚細胞性腫瘍に対する手術を受けられた方です。診療録に記載されている年齢、性別、病歴、血液検査値、腫瘍マーカー、画像所見、治療内容、手術方法、病理診断、術後経過、再発および予後などを調べます。氏名等と研究IDの対応表は、当施設において担当者が責任をもって保管・管理し、外部には送付しません。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究で利用する情報は、通常診療の過程で診療録等に記録された以下の項目です。

- ・ 年齢、性別、既往歴、併存疾患、喫煙歴などの患者背景
- ・ 主訴、発見契機、などの病歴
- ・ 血液検査、画像所見
- ・ 治療方法
- ・ 病理診断、術後補助療法の有無
- ・ 治療後経過と予後

本研究では、新たに試料を採取することはありません。

5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 大鳥 精司

研究責任者：呼吸器外科 （教授）鈴木 秀海

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学大学院医学研究院呼吸器病態外科学教室の鍵のかかる保管庫で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院呼吸器外科

医師 鈴木 秀海

043（222）7171 内線5464